

三年目を迎えた両課程

平成十一年度に本学は、学校教育教員養成課程と総合教育課程の二課程に学部改組をしました。両課程のようすを、それぞれの運営委員会から紹介していただきました。



「基礎ゼミ」の
新しいお仲間
——ディベート——
学校教育教員養成課程
運営委員会 委員長
上野 ひろ美

「学校教育基礎ゼミナール」(略称「基礎ゼミ」)が今、楽しい。学校教育教員養成課程でこの試みを開始して二年が経過し、この四月で三年目に入る。



「基礎ゼミ」は、入学したての一回生を対象とした授業で、学校教育

育教員養成課程のすべて

の学生が必ず履修する。

改組と大学改革の波の

なかで、大学入門授業

としての期待を大きく

背負って誕生した。前

半期のその内容はディ

ベートである。

課程がめざす 四つの力

学校教育教員養成課程は四つの力量形成をめざしている。

一 異校種に対応できる力

二 理論と結んだ実践的な力

三 臨床的な力

四 現代的課題に対応できる力である。

「基礎ゼミ」は、主として「四現代的課題に対応できる力」の獲得をめざしたものである。

「基礎ゼミ」の三つのねらい

「基礎ゼミ」は、三つのねらいを掲げて出発した。

一 知的なものの方や考え方の基礎を養い、有効な表現



方法を身につける。

二 ディベートを通して教育を巡る諸問題について考える。

三 学生と教官、学生と学生の、双方向的な相互学習の時間と空間を創造する。

ディベートの多彩な論題

論題は多彩である。学生からの発案が多く、次のような命題の是



非を問う。

「中学校での制服は廃止すべきである」、「小学校の運動会の徒競走での順位づけは不要である」、「小学校での給食は廃止すべきである」、「センター試験は不必要である」等々、多岐にわたる。

全体とグループ学習の 交互転換

学習形態が楽しい。総勢約一三〇名であるが、基礎基本に関する講

義と演習は全員を前に実施する。

次は約四〇名のグループに別れてディベートを行う。

さらに、全体場面で、グループ対抗あるいはコース対抗ディベートを行う。グループで磨いてきた腕の見せどころである。

最後はディベート大会である。

もはや、グループにはこだわらない。テーマについて、肯定派と否定派、それを見守る審判に別れて真剣勝負が展開される。

教官陣はティームティーチング

教官が課程の各コースから総勢九名もつくという豪勢さである。何とも一回生に手厚い体制である。ディベート後毎回、そのテーマに近い分野の教官がコメントをするが、専門性からの切り込みが鋭い。学生だけでなく同僚教官にも知的刺激を与える。教官がティームティーチングを楽しんでいるのもこの授業の特徴である。

※二年間のディベート授業が、学生諸君の声と共に報告書になります。四月初旬に完成予定です。

軌道に乗り始めた 総合教育課程

総合教育課程
運営委員会 委員長

浅井 照明



課程の由来

総合教育課程は平成七年度から始まった「総合文化科学課程」に端を発している。社会、教育状況の急激な変化に対応すべく、課程を発足したが、平成十年度に再度改組を行い、「生涯学習コース」を新たに含む拡大新課程として生まれ変わったことになった。また、平成十年度からは教育学部が学校教員を養成する課程（学校教育課程）と総合的な教育を目指す課程（総合



教育課程」に分かれることとなり、教官組織もそれに応じて分かれることとなった。そのため、平成十年度以降は教育学部の中の課程であるものの、それぞれが独自の道を歩むようになった感がある。

課程の構成

総合教育課程は「生涯学習」、「芸術・文化」、「文化財」、「環境教育」、「科学情報教育」の五コースからなり、それぞれ今日のテーマを扱っている。

コース共通科目と課程共通科目

総合教育課程は多くの専修に分かれているため、とすれば細分化されすぎるきらいがある。そのため、これを是正するために、コース共通科目、課程共通科目が随所に織り込まれている。コース共通科目には専修専門科目をコース共通科目として設定することもあるし、また独自に講義を展開することもある。コース共通科目の設定は、すべてコースにまかされているため、この点はコースの腕の見せ所である。

基礎ゼミナール

総合教育課程の課程共通科目の中で特徴あるものに「基礎ゼミナール」と称する一回生向けのゼミナールがある。これは「総合文化科学課程」以来の科目で、コースや専修によって展開方法が違っているが、新入生と教官の間の距離を近くしてくれるという点に特色がある。大学一年生にはこのような授業が

あるほうがよいのかもしれない。ともかく、この科目は「総合文化科学課程」の時に非常に評判が良かったため、平成十年度の改組の際に、学校教育課程の方も展開方法を若干変えて、実施することになった。



総合教育基礎論

総合教育課程の課程共通科目には、基礎ゼミナール以外に特色のあるものとして、総合教育基礎論と総合

合フィールド演習がある。総合教育基礎論は、一回生展開で総合教育課程の一回生全員が一同に会する科目である。この科目には「総合教育とは何か」という問いかけも含まれている。展開方式はコースから二名ずつの教官が一回ずつ分担し、最初と最後にコーディネータの教官がまとめる形をとっている。開設されてから二年を経て、ようやく定着しかけているようである。

総合フィールド演習

総合フィールド演習は、二、三回生展開で、ほぼ専修単位で別々に展開されることになっており、まだ開講されていないものが多い。これも総合教育とは何かという問いかけを含んでおり、今後の展開が注目されるところである。



平成十一年度の学部改組、大学院における現職教員対象の夜間コースの新設、平成十二年度の附属教育実践研究指導センターの教育実践総合センターへの拡充整備、平成十二年度四月の講義棟改修と、本学の姿は、内からも外からも、変わろうとしている。

「教育実践」と「地域社会」をキーワードとした大学改革が、稔りあるものとなるよう、真摯な努力を積み重ねていきたい。